

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号：CRC-125

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐 リスク	根拠
大腸がん	adjuvant CapeOX (XELOX)	21日間	8コース	<input type="checkbox"/> 進行/再発 <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	中	J Clin Oncol 25: 102-9, 2007 J Clin Oncol 29: 1465-71, 2011 N Engl J Med 378: 1177-88, 2018

	薬品名	投与量	投与 経路	投与 時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	デキサート パロノセトロン アロカリス	6.6mg 0.75mg/50mL 235mg	点滴静注	30分	↓																				
②	エルブラット 5%ブドウ糖液	130mg/m ² 250mL	点滴静注	120分	↓																				
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
④	カペシタピン	2000mg/m ² /日	内服	1日2回に 分けて 朝夕食後	↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓					

<注意事項/備考>

- ✓ Cape投与量：BSA<1.36m²：2400mg/day、1.36≤BSA<1.66m²：3000mg/day、1.66≤BSA<1.96m²：3600mg/day、BSA≥1.96m²：4200mg/day
- ✓ Capeの内服タイミング：Day1の夕食後からDay15の朝食後まで（ただし、Day2の朝からの内服でも可）
- ✓ Cape：他のフッ化ピリミジン系薬剤と併用禁忌（前後7日間以上の間隔を空ける）
- ✓ HFS（Cape）：保湿剤で予防を。痛み、腫脹、水膨れなどの症状に注意
- ✓ 腎障害（Cape）：重篤な腎障害（CCr<30mL/min）では投与禁忌。Ccr 30-50mL/minでは減量を（75%用量など）
- ✓ 過敏症（L-OHP）：7-8コース前後で頻度上昇、症状は呼吸苦、かゆみ、発赤など
- ✓ 末梢神経障害（L-OHP）：急性（寒冷刺激で誘発）と慢性（知覚異常を伴う機能障害、総投与量850mg/m²より頻度上昇）

✓ 通常は6か月間投与であるが、再発低リスク症例においては3か月間投与も考慮

∴>>



